

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第11週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (11週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、破傷風 1 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		小林	90歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		日向	20歳代	女	疑似症患者	—
			100歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	延岡	0~4歳	男	—	ショック、DIC
	破傷風	高鍋	70歳代	女	—	筋肉のこわばり、嚥下障害、強直性痙攣、呼吸困難(痙攣性)、易興奮性、反弓緊張
	百日咳	中央	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 416 人(定点当たり 11.9)で、前週比 86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

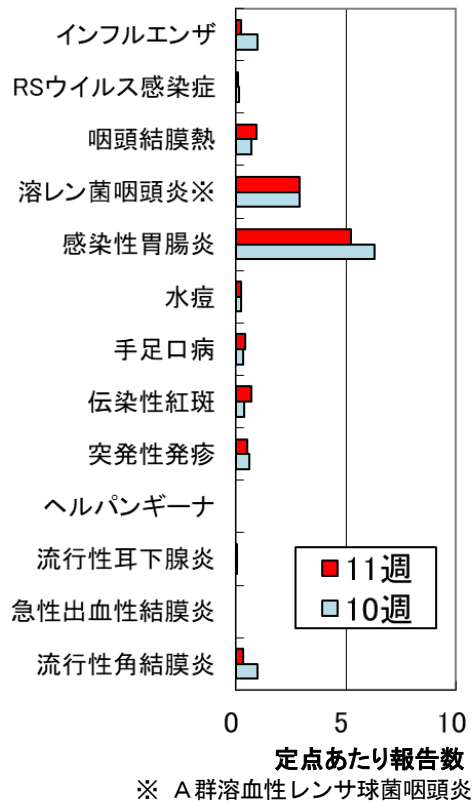
報告数は 105 人(2.9)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.6)の約 1.1 倍であった。宮崎市(3.6)、都城、日向(3.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では 3~5 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

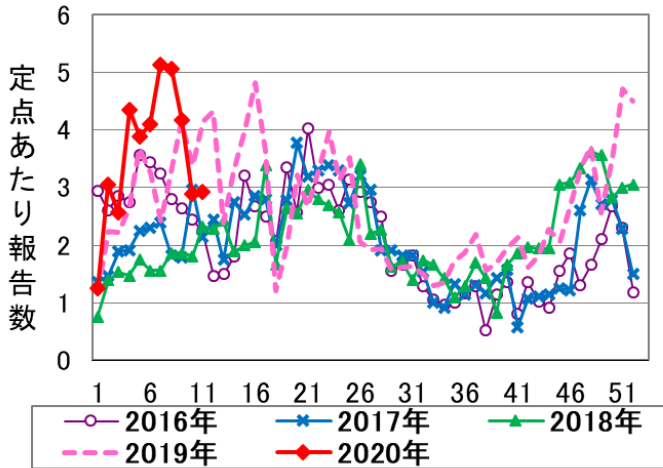
報告数は 188 人(5.2)で、前週比 83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (10.1)の約 0.5 倍である。日向(9.5)、日南(8.7)、小林(7.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

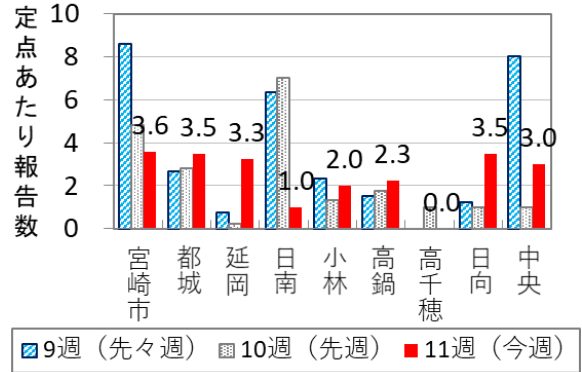
《前週との比較》



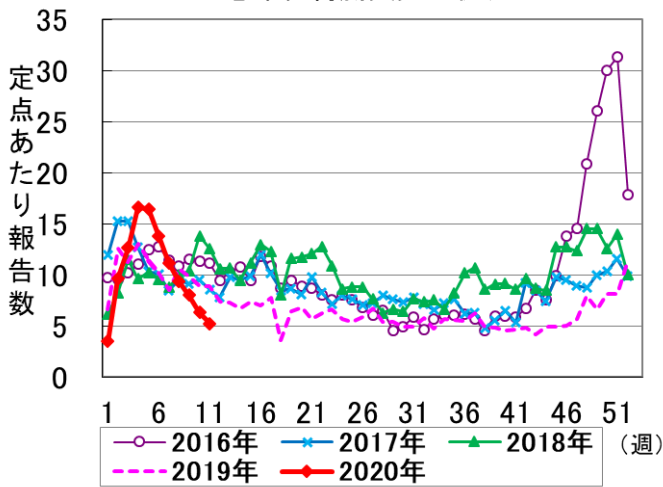
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



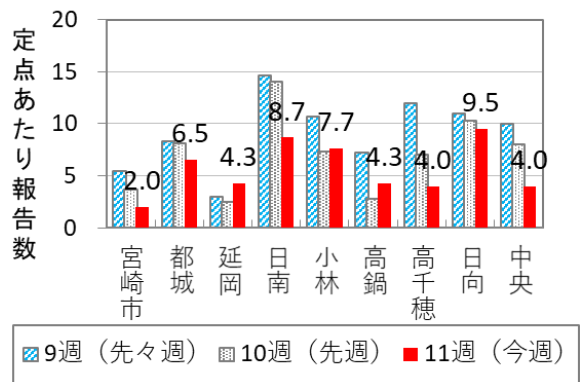
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

- 細菌性髄膜炎：延岡保健所から1例報告があり、年齢は0～4歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：日南保健所から1例報告があり、年齢は40歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年3月16日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O157:H7 VT2)	10歳代	女	2020.02.27	発熱(39.2℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、血便、腹痛)	便	2020.03.04

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
単純ヘルペスウイルス1型	60歳代	男	2019.12.27	麻疹・風疹疑い、40.0℃、肺炎、丘疹、紅斑	咽頭ぬぐい液	2020.03.03
ヒトヘルペスウイルス6	0~4歳	女	2020.01.22	ウイルス性発疹、発熱	咽頭ぬぐい液	2020.03.03
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5~9歳	男	2020.02.03	インフルエンザA型、39.7℃	咽頭ぬぐい液	2020.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	50歳代	女	2020.02.05	インフルエンザA型、39.0℃、筋肉痛、咽頭炎、咳	咽頭ぬぐい液	2020.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	60歳代	男	2020.02.10	インフルエンザA型、37.7℃、咳、痰	鼻汁	2020.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	30歳代	女	2020.02.10	インフルエンザA型、38.3℃、咽頭痛	鼻汁	2020.03.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	女	2020.02.13	インフルエンザA型、40.2℃、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2020.03.06
インフルエンザウイルスB型 (ビクトリア系統)	10歳代	男	2020.02.12	インフルエンザB型、38.8℃、鼻汁、くしゃみ	鼻汁	2020.03.06
インフルエンザウイルスB型 (ビクトリア系統)	10歳代	女	2020.02.10	インフルエンザB型、発熱	鼻汁	2020.03.06
SARS-CoV-2	70歳代	男	2020.03.04	気管支炎、38.1℃、上気道炎、下気道炎	喀痰	2020.03.04

○発疹及び発熱の症状を呈する乳幼児からヒトヘルペスウイルス6が分離された。ヒトヘルペス6は乳幼児の突発性発疹の原因ウイルスとして知られており、38℃以上の熱が3日間ほど続いた後、解熱とともに鮮紅色の斑丘疹が体幹を中心に顔面、四肢に数日間出現する。一般的に予後は良好であるが、まれに脳炎、脳症など重篤な合併症を起こすこともある。

○発熱、上気道炎及び下気道炎の症状を呈する成人からSARS-CoV-2が検出された。

🇯🇵 全国 2020 年第 10 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第10週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	281 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	13 例	
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	3 例	オウム病 1 例
	チクングニア熱	1 例	デング熱	2 例	レジオネラ症 17 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 18 例
	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 22 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	39 例	水痘（入院例） 2 例
	梅毒	49 例	播種性クリプトコックス症	3 例	百日咳 134 例
	風しん	7 例	麻疹	1 例	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	197 例			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 84%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は11,261人(3.6)で前週比86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.2)の約0.6倍であった。香川県(8.2)、宮崎県、福井県、大分県(各6.3)からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は9,226人(2.9)で前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約1.1倍であった。石川県(8.7)、富山県(7.9)、新潟県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では3~6歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年2月>

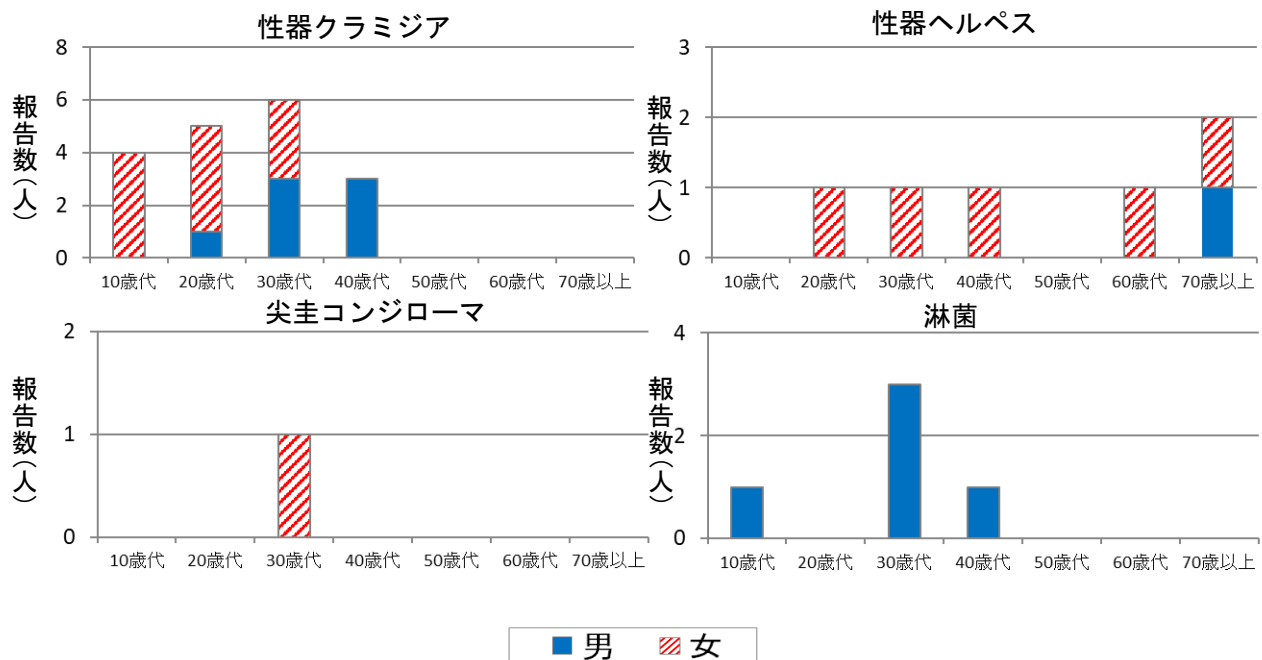
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は30人(2.3)で、前月比167%と増加した。また、昨年2月(2.4)の97%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数18人(1.4)で、前月の約1.4倍、昨年2月の約0.8倍であった。
20～30歳代が全体の約6割を占めた。(男性7人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の3.0倍であった。(男性1人・女性5人)
(前年報告なし)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年2月と同率であった。(女性1人)(前月報告なし)
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で前月の約1.7倍、昨年2月の約0.6倍であった。(男性5人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,134人(4.2)で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,321人(2.4)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症747人(0.76)で前月比93%、尖圭コンジローマ431人(0.44)で前月比85%、淋菌感染症635人(0.65)で前月比82%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で、前月比94%と減少した。また、昨年2月(1.4)の150%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の約0.9倍、昨年2月の1.5倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,376人(2.9)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,267人(2.7)で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症101人(0.21)で前月比84%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月と同率であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第11週(03月09日～03月15日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	59	14	3	6	1		2	1			1
	定点当り	1.00	0.24	0.19	0.60	0.14	0.00	0.40	0.17	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	5	3	1	1	1						
	定点当り	0.14	0.08	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	25	34	16	5	1	8	2	1			1
	定点当り	0.69	0.94	1.60	0.83	0.25	2.67	0.67	0.25	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	104	105	36	21	13	3	6	9		14	3
	定点当り	2.89	2.92	3.60	3.50	3.25	1.00	2.00	2.25	0.00	3.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	227	188	20	39	17	26	23	17	4	38	4
	定点当り	6.31	5.22	2.00	6.50	4.25	8.67	7.67	4.25	4.00	9.50	4.00
水痘	報告数	9	8	2	1	3					2	
	定点当り	0.25	0.22	0.20	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	12	15	8	1	6						
	定点当り	0.33	0.42	0.80	0.17	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	14	25	10	9		1		4		1	
	定点当り	0.39	0.69	1.00	1.50	0.00	0.33	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	22	18	8	1	1	1	2	1		3	1
	定点当り	0.61	0.50	0.80	0.17	0.25	0.33	0.67	0.25	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	2				1				1	
	定点当り	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	2	1		1						
	定点当り	1.00	0.33	0.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1				1					
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～11週)

2類感染症	結核	28例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例		
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例
				レジオネラ症
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	5例	水痘(入院例)	3例
	破傷風	1例(1)	百日咳	11例(1)
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1例		

()内は今週届出分、再掲